

会 議 録

会議名	平成 25 年度 第 5 回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成 25 年 10 月 30 日 (水) 午前 9 : 30 ~ 午後 0 : 20
開催場所	丸亀市役所 別館 5 階第 1 会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">岡本 恵子 金 永子 黒田 英津子 森 茂</p> <p style="text-align: center;">石原 茂 仁科 清 早馬 倫代</p> <p>(欠席委員)</p> <p style="text-align: center;">日野 明世</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">企画財政部長 大林 諭 政策課長 小山 隆史</p> <p style="text-align: center;">政策課副課長 渡辺 研介 政策課主任 真鍋 裕章</p>
議 題	<p>1. 外部評価報告書について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	1 名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
小山政策課長	<p>ただ今より、第 5 回の丸亀市行政評価委員会を開会いたします。本日は、お忙しい中、会議にご出席いただきありがとうございます。</p> <p>議事に入ります前に、会議資料を確認します。</p> <p style="text-align: center;">＜配布資料の確認＞</p> <p>以後の進行につきましては、会長に議長をお願いします。</p>
金会長	<p>それでは、議事に入ります前に、現在 8 名の委員のうち 7 名のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>では、議事に移ります。「議事の 1 外部評価報告書について」事務局の説明をお願いします。</p>
政策課真鍋	＜資料に基づき説明＞
金会長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたとおり、まずは、外部評価の対象とした 10 事業の今後の方向性について、行政評価委員会としての意見を取りまとめることとなります。何かご意見はありますか。</p>
岡本委員	資料の報告書（素案）では、事業ごとに「方向性」「所見」といった形で評価

	<p>結果を記載することになっていますが、もう一つ「方向性」の後に、その方向性と評価した「判定理由」を記載する欄があった方が分かりやすくなると思います。そこに委員会として議論した結果を記載することとして、「所見」の欄は、各委員の思いを十分に伝えるために、簡潔にし過ぎず、委員からの「コメント」のような形で、生の声を記載して欲しいと思います。</p>
政策課真鍋	<p>各委員からいただいた意見は整理し過ぎないようにします。今の意見を参考に報告書に修正を加えたいと思います。</p>
小山政策課長	<p>この報告書は、来年度予算編成に向けての資料となるものですし、まずは委員会としての統一した見解は出していただきたい。その上で、各委員の思いを尊重して、その他意見として加えていくという形でいかがでしょうか。</p>
金会長	<p>報告書の説得力を高めるためにも、委員会の共通認識として1つの方向性は出しておくべきですが、それ以外の各委員からの意見も十分に生かした報告書になるようお願いします。</p>
岡本委員	<p>あと、予算編成だけでなく事務改善等に繋げるためにも、各委員の思いは、多少の誤解等が混じっていたとしても、漏れなく担当課に伝えて欲しいと思います。</p>
政策課真鍋	<p>担当課向けには、報告書とは別に、行政評価委員の生の声として、提出していただいた「評価作業シート」を加工せずに見てもらおう予定にしています。</p>
黒田委員	<p>委員会として1つの方向性を出すとして、判定理由はしっかりと記載して欲しいです。あと、委員会の議論としては他の方向性も検討したという意味で、その他の意見も記載するというスタイルでよいと思います。</p>
石原委員	<p>報告書を見た人に委員会の意図がよく伝わるよう、時には強いメッセージを入れた文章にして下さい。</p>
金会長	<p>それでは、事業の方向性についての「判定理由」の欄を追加することとなるべく各委員の意見はそのまま記載するというにしたいと思います。</p> <p>では、1事業ずつ議論していきますが、どの事業からはじめますか。例えば、委員の意見が概ね一致している事業からはじめるなど、いつもと違う順番でいかがでしょうか。</p>
石原委員	<p>いつも後になる事業No.10から逆に見ていくのはいかがですか。</p>

金会長	<p>それでは、後の事業No.10 から見ていくこととして、まずは委員 8 人中 6 人以上の意見が一致している事業を、次に残りの事業を見ていくこととします。</p> <p>まずは、事業No.7 の「子育て支援事業費」ですが、各委員の取りまとめの結果について事務局に説明を求めます。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づいて説明></p>
金会長	<p>6名の委員が「拡充」と評価していますが、何かご意見はありますか。</p>
岡本委員	<p>「改善」の意見も予算の枠内での増設となっており、「拡充」に近いように思います。</p>
仁科委員	<p>開設数は増やして欲しいが、現行予算の範囲内、経費は増やさないということを重視して、「拡充」ではなく「改善」としました。</p>
岡本委員	<p>現行予算をうまくやり繰りして、開設数を増やすことにも向けていくという意味での「改善」は必要ですが、現実的には、予算も増やさないと難しいのではないのでしょうか。この事業は、これまでの行革や総合計画でも開設数の増加を目指していますし、「拡充」の方向性がよいと考えます。</p>
早馬委員	<p>子どもを預かる事業ですし、予算の範囲内にこだわって、質が低下するようでは困ります。必要な経費については、予算の増加で対応すべきと思います。</p>
黒田委員	<p>子育て支援策の充実が必要ですが、この事業をどんどん充実させて、開設数を増やす、土日も開けるというやり方には疑問を感じます。これは、この事業に限らず、どの事業にもいえることだと思いますが、あくまでも数ある子育て支援施策のうちの1つなので、横の繋がりで予算も融通を利かせれば、今のままで、別事業や新事業で充実を図ることもできるのではないかと思い、「維持」にしました。</p>
仁科委員	<p>開設数の増やすことにより施設が増えると、将来的な負担が大きくなるのではないかと懸念します。</p>
岡本委員	<p>どこの自治体でも子どもの減少に頭を悩ます中で、将来的なことを考えるからこそ、子育て環境の整備は重要であり、地域の活性化のほか女性の社会進出、ワークライフバランス等の幅広い面からも力を入れるべきだと思います。現在の計画は、無理なく事業の推進を図るものとなっていますし、利用者数も増加しています。これからも、開設数の増加も含めて計画どおりに事業を進めていくべきだと思います。</p>

早馬委員	<p>既存施設の空きスペースを利用するなどすれば、施設にかかるコストは抑えられると思います。そういった工夫も混じえながら、事業を「拡充」すべきと思います。</p>
黒田委員	<p>委員会として、この事業を「拡充」の方向性と評価することに異論はありませんが、この事業を拡充することにより、他に縮小してもよい事業が出てくるなど、他の子育て支援策との十分な連携や整合性といった面を無視したものにはして欲しくありませんので、その意見は残してください。</p>
石原委員	<p>「拡充」とはいえ、本当にムダな部分がないかどうかの精査は必要だと思います。</p>
金会長	<p>意見も出尽くしたようなので、多数決により委員会としての事業の方向性を決定したいと思います。</p> <p><拡充7名></p>
金会長	<p>全会一致で「拡充」となりました。報告書の取りまとめについては、どこに記載するにしても、今出された様々な意見を十分に尊重して、できる限り書き込むようにお願いします。</p> <p>次に事業No.6「在宅老人福祉事業費」ですが、事務局の説明を求めます。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づき説明></p>
金会長	<p>ご意見をお聞きする前に、先の事業でもここでも横の連携という共通する課題が意見として出されていますが、報告書ではどのように取りまとめるのですか。</p>
政策課真鍋	<p>補助金関係の事業でも共通の課題が挙げられており、それらの複数事業に跨る意見については、報告書では事業別評価結果の次の全般的な意見、提言として一括して記載します。</p>
金会長	<p>それらは、事業別評価結果と全般的な意見、提言の両方に記載するようお願いいたします。</p>
政策課真鍋	<p>わかりました。そのように取りまとめます。</p>
金会長	<p>では、各委員のご意見をお願いします。</p>

森副会長	<p>利用率が年々低下しており、市民ニーズに十分に込えられておらず、より積極的に取り組むべきという意味での「拡充」です。現状で予算も使い切れていないようなので、予算や人員を増やすという意味にはなりません。</p>
岡本委員	<p>同じく、すぐに予算などを増やすという意味の「拡充」ではありませんが、例えば、この事業費が増えたとすれば、逆に介護保険の事業費が下がるのではないかと考えています。介護の歯止めとなる事業への「拡充」としました。</p>
金会長	<p>サービス対象の緩和により予算が増えるだろうという意味で「拡充」としましたが、基本的には「拡充」は予算や人員が増えるものと理解していました。今回は、そうではないですね。</p>
森副会長	<p>予算という捉え方をすれば、現に余っているので増えないと思いますが、使うお金は増える方向なので「拡充」でよいと思います。</p>
岡本委員	<p>「改善」でも予算や人員が増えるパターンもあると思いますし、何をもって「拡充」や「改善」とするかは共通認識が必要です。</p>
黒田委員	<p>委員間だけでなく、報告書の読み手にどう伝わるかということも考えておくべきだと思います。</p>
仁科委員	<p>判定した方向性の中身を記載することが必要だと思います。どのような「拡充」なのかといった点を詳しく記載することで、意図の伝わる報告書になると思います。</p>
小山政策課長	<p>事業の方向性の捉え方としては、報告書に記載しているとおりでありますが、一概に字面だけでは当てはまらないこともありますので、そこは十分に伝わるよう判定理由などの記載部分で補いたいと思います。</p>
金会長	<p>この事業でいえば、予算に捉われず、市民ニーズに十分に込えていく意味での「拡充」ということになるかと思います。意見も出尽くしたようなので、採決に移ります。</p> <p><拡充7名></p>
金会長	<p>この事業も全会一致で「拡充」となりました。</p> <p>続いて、事業No.5「地域福祉活動援助費」について議論したいと思います。事務局の説明をお願いします。</p>

政策課真鍋	<資料に基づき説明>
石原委員	社会福祉団体援助費は、毎年、同額の補助金の渡し切りで、使い道も必要性も分からない。こういった手法について「改善」としました。
岡本委員	補助金等見直し基準があるにもかかわらず、チェックがずさんで、漫然とした補助金の支給が続いています。この事業に限らず、ヒアリングでも補助金の見直しに対する意識が低いと感じましたので、より厳しく「縮小」としました。
早馬委員	補助金については、必要でないところは削るという意識が必要だと思い「縮小」としました。
金会長	社会福祉団体への援助は必要と思いますが、支給先や使い道を精査して、有効な援助とすべきと考えました。また、社会福祉協議会については必要な団体であるので、それらを考え合わせて「改善」としました。
岡本委員	社会福祉協議会に関しては、必要性は認めますが、あまりに業務量が膨大になってしまったため、市のだれもが中身を理解できていません。調べてみると、この事業だけでなく市から社会福祉協議会に支出する補助金は約1億円で市全体の補助金の1割を超えます。それらの支出については、通り一遍の決算説明を受けただけで問題なしとしています。それら1つ1つの成果や金額について精査はできておらず、チェックがずさんといわざるを得ません。多額の基金を抱えていることや当初予算で1億円を超える繰越があることについての議論もなされない感覚は理解できず、ここは「縮小」にすべきと考えます。
金会長	全国的には社会福祉協議会は不要として潰れたケースもあり、必要だからこそチェックは十分にしておかなければならないと思います。
岡本委員	市として把握すべきところは把握するという「改善」も必要と思います。
金会長	それでは採決に移ります。
	<改善3名、縮小4名>
金会長	この事業は「縮小」となりました。
渡辺 政策課副 課長	ここで確認ですが、当初は改善6名、縮小2名だったものが、本日の議論を経て、改善3名、縮小4名となり、結果が変わりました。この点をどのように報告書に記載しましょうか。

金会長	<p>報告書の読み手が混乱しないように、最終的には今日の会議の多数決で事業の方向性を決したことは明記しておくべきと思います。意見が変わった経緯などをどのように記載するかは、また考えたいと思います。</p> <p>続いて、事業No.3「塵芥収集業務費」に移ります。事務局の説明をお願いします。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づいて説明></p>
金会長	<p>本事業は、「維持」の評価が多いですが、何か意見はありますか。</p>
岡本委員	<p>「改善」としましたが、これまでの事業推進を評価していますし、これからも、もっと頑張ってもらいたいという意味からなので、「維持」に近い意見です。</p>
金会長	<p>これまでよくできているし、これからさらに頑張ってもらいたいという意見としては同じであり、それが方向性としては「維持」と「改善」に分かれています。特にその他の意見もないようなので、採決したいと思います。</p> <p><改善1名、維持6名></p>
金会長	<p>それでは、方向性は「維持」とします。</p> <p>続けて、事業No.10「観光開発事業費」に移りますので、事務局からの説明をお願いします。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づき説明></p>
石原委員	<p>これからの地域の発展を考えて、「縮小」よりは「改善」としました。ただし、補助金のばら撒きや中身を把握していないことについては、見直しが必要です。</p>
森副会長	<p>県内の観光客が減少している中、4年間で30万人も観光客が増加したという成果は評価すべきだと思います。その点で「維持」としています。</p>
岡本委員	<p>団体旅行誘致など評価できる取組もある一方で、今の「丸亀城バサラ京極隊」の成果はどうでしょうか。当初は歴史ブームもあり、関心を惹いたかもしれませんが、今では「とり奉行 骨付じゅうじゅう」などゆるキャラの方が注目を浴びており、その時々で観光客の関心は移っているのに、事業の見直しできていないと思います。これからの観光振興を考えても、縮小するものや重点を置くもの、常に敏感に事業の見直しを行わなければなりませんし、その点での市のコミットメントが重要です。そういった意味では、「縮小」としましたが、予算を減らさず、有効に使うという「改善」かもしれません。</p>

早馬委員	<p>「縮小」としましたが、「丸亀城バサラ京極隊」は効果が疑問であり、必要ないという思いからです。もっと効果的に事業に予算を向けることや市を売り込むということを考えた場合の市の関わり方など「改善」の要素も含まれると思います。</p>
岡本委員	<p>ここでの「縮小」の評価は、決して観光振興は「縮小」の方向性でよいということではありません。</p>
早馬委員	<p>「丸亀城バサラ京極隊」のような丸投げの委託は、補助金の使い方としてよくないので、縮小すべきということであって、その分は、他の観光開発事業などに回して、有効に活用して欲しいと思います。</p>
金会長	<p>それでは、採決に入ります。</p> <p><改善5名、維持2名></p>
金会長	<p>方向性としては「改善」とします。</p> <p>次に事業No.9「防災費」です。事務局の説明をお願いします。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づき説明></p>
金会長	<p>「維持」と「改善」で意見が重なっているように感じますが、意見はありますか。</p>
早馬委員	<p>これから災害への備えをしていく上で、予算が決まっているので十分な対策が取れないということでは困るので、予算に拘らず必要な備えをするべきとして「拡充」としました。</p>
岡本委員	<p>防災アドバイザーの選任方法は考え直してもよいと思います。また、せっかくの専門家なので、地域の防災訓練の企画からアドバイスをしたり、市民の防災意識を啓発するような情報を発信するなど、活用方法の見直しは必要なので「改善」としました。</p>
黒田委員	<p>「維持」としましたが、防災アドバイザーの活用方法、特に外向けの活動を増やすなど見直しは必要と思います。選任については、市が適材を見抜くことは難しいと思いますので、自衛隊に頼むこともやむを得ないのではないのでしょうか。</p>
石原委員	<p>防災アドバイザーの存在があまりに市民に知られていません。もっと広報な</p>

	<p>どで知らせるべきなので「改善」にしました。</p>
仁科委員	<p>防災アドバイザーに頼りすぎている弱さを感じます。消防職員にも防災知識はあり、経験も積んでいると思うので、防災アドバイザーは必要ないと感じ「改善」としています。</p>
金会長	<p>それでは、採決します。</p> <p><改善4名、維持3名></p>
金会長	<p>事業の方向性は「改善」とします。</p> <p>それでは、本日はあと1つ、事業No.8「放課後子どもプラン事業」の議論を行い、残る3事業は、次回会議に回したいと思います。事務局からの説明をお願いします。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づいて説明></p>
金会長	<p>青い鳥教室の小学校6年生までは対象拡大はすべきであり、そのためには予算や人員が必要になると思い「拡充」にしました。</p>
森副会長	<p>児童福祉法の改正もあり、小学校6年生までの対象拡大は折り込み済みとして「維持」にしました。</p>
岡本委員	<p>ヒアリングでの、前倒しで小学校6年生までの対象拡大は検討しないという所管課の考えには疑問が残りましたし、コストパフォーマンスがよく、地域で預かるため地域活性化や防犯など様々な面で効果が高い放課後子ども教室にシフトすべきとの考えから「改善」としました。</p>
金会長	<p>意見もないようなので、採決に入ります。</p> <p><拡充3名、改善1名、維持3名></p>
金会長	<p>「拡充」と「維持」が3名になりました。とりあえず保留として、次回に持ち越したいと思います。</p> <p>次に、議事2のその他について、事務局から何かありますか。</p>
政策課真鍋	<p><日程確認等></p>
金会長	<p>それでは、以上で本日の会議は終了します。お疲れ様でした。</p>